

森沢きょうこ

東京都議会議員(品川区選出)



無所属
東京みらい
HPはこちら▶ 

[プロフィール] 1978年11月16日生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。
テレビ局記者やデベロッパー広報など民間企業でキャリアをつむ。
2017年7月の東京都議会議員選挙で初当選。厚生委員会 委員。無所属 東京みらい 幹事長。

令和3年
第2回定例会
報告①

厚生委員会にて ワクチン接種の加速化や ひとり親支援強化について質疑

Q

ワクチン接種の進捗に自治体間の差が生じている。

各自治体の計画や進行状況、実態などを把握し、接種が早く進行している好事例を共有するなど、支援を強化すべき。

A

医療従事者の確保について、関係団体に協力を要請。加えて、ワクチン接種に協力する医療機関への協力金を支給する新たな支援を開始。



▲6月3日の厚生委員会にて

Q

ワクチン接種の「打ち手」について、

潜在看護師を活用するなど、広く人材確保に努めるべき。

A

東京都看護協会などと連携して、接種に携わる潜在看護師の確保に努めていく。

●協会や医療機関に所属していない看護師も多いことを指摘し、広く協力を募るよう求めました！



新型コロナウイルス感染症最新情報 (6月12日現在)

▶品川区のワクチン情報

- 64歳以下の方 **6月29日(火)～** 接種券発送予定
- 65歳～74歳の方 **6月14日(月)～** 予約受付開始！
- 医療機関での個別接種開始 **6月21日(月)～**

品川区新型コロナワクチン
接種センター

03-6633-2433

[午前9時～午後5時 ※火曜日は午後7時まで/土日・祝日も実施]

品川区の
ワクチン
接種
最新情報



▶国の大規模接種センター

「65歳以上(接種券を持っている)」かつ「第一回目の接種」の方は、大手町合同庁舎(千代田区大手町1-3-3)にて、ワクチン接種ができます。東京駅からの送迎バスもあります。詳しくは、右のQRコードをご覧ください。



東京都
新型コロナ
最新情報



都民に開かれ、都民に必要とされる議会へ

早稲田大学マニフェスト研究会による議会改革度ランキングが公表され、東京都は47都道府県中24位という結果でした。令和3年第2回定例会の討論では、議会改革についても申し述べました。

「立場や考え方は違えど、都民の皆様に送り出されている議員が、お互いをリスペクトし、時に力を合わせ、時に激しく議論しながら、都民にとってベストな答えを見つけ出していく」、それが私たちの目指す議会の姿です。

これからも、都民に開かれ、都民に必要とされる議会へと議会改革が進むことを心から願うものです。

また、東京は日本の首都であり、日本全国をリードする使命がある一方で、あらゆる社会課題が存在する都市でもあります。ピンチはチャンス、課題はヒントです。その解決に向けて、都庁と議会、さらに民間が、垣根を越えて知恵を出し合い、協働する都政へと歩みを進めることができます。必ずや将来の東京を切り拓くと信じています。

生きづらさの解消に向けて前進！ ジェンダー平等、性別による



「東京都にパートナーシップ制度創設を求める請願」 が全会一致で趣旨採択！

私も”紹介議員”として請願の提出を後押ししてきました。知事からも導入に向け、前向きに検討を進める表明がありました。都庁職員の福利厚生や都営住宅への入居など、具体的な課題解決に資する制度となるよう取り組んでいきます。

「選択的夫婦別姓制度に係る国会審議の推進に関する意見書」全会一致で可決

結婚によって姓の変更を強いられるることは、それまでの人生で築き上げてきた様々なつながりやキャリアなどを途切れさせる可能性があり、その心理的、社会的な負担について、早急に取り除くべきであると考えています。首都東京から、議論を深めるよう国に意見書が出されるのは画期的なことです！

「都立高校における男女間の合格点格差」 是正に向けて一步前進！

都立中・高校では、男女別定員制度がいまだに残っており（47都道府県中2都県のみ）、結果的に男女の間に合格点の格差が生じています。ジェンダー平等の実現には、教育が重要と訴えてきました。一般質問で、男女平等を進めるとの答弁があり、一步前進です！

6月7日の本会議での討論▶



無所属 東京みらいを代表して、補正予算等に賛成討論！

- ✓ 都独自の集団接種については、学校教職員や保育施設従事者への優先接種を！
- ✓ 積極的なスクリーニング検査で早期に陽性者を発見し、感染拡大防止を！
- ✓ 文化イベント等について、検査費用の支援などで活動の継続を支援すべき！
- ✓ 雇用促進減税により、企業の採用・雇用継続意欲の向上を！
- ✓ 厳しさが増すひとり親家庭に対し、民間と力をあわせた食の支援を！
- ✓ 高校生や大学生など若者の学びと成長機会を！実態把握の上で、必要な支援を！

令和3年
第2回定例会
報告②



DVや虐待等の場合、離婚がすぐに成立しないことで「ひとり親」として認定されないケースもあり、十分な支援が受けられない。

相談窓口の周知含め、こうした方々にも届く支援を。



ひとり親家庭支援センターにおいて、養育費相談や離婚前後の法律相談、グループ相談会などを実施し、離婚協議中の方も含めて支援。また、今回の補正予算案で広報を強化。

東京都ひとり親
支援センター
「はあと」



オンラインでも
相談できます！

東京都議会議員 森沢きょうこ事務所

〒141-0032 品川区大崎5-6-12 小出ビル201 Tel 03-5759-4555 Fax 03-5759-4556 mail info@kyokomorisawa.jp

ご意見やお悩みなど、
お気軽にご連絡ください

